

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記のとおり大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴ください。

記

1. 講師 国立循環器病研究センター 先端医療技術開発部
山城 義人 室長
2. 演題 血管壁のメカニカルストレス応答における
細胞外マトリクスの役割と病態形成
3. 日時 2024年3月22日(金) 17:00~19:00
4. 場所 ZOOM
(受講希望者は全学メールに記載のあるZoom登録用URL
から登録を行うか、3月20日までに下記メールアドレスに
ご連絡ください)

5. 要旨

細胞外マトリクス(ECM)は、ECMと細胞の相互作用を通じて、細胞内シグナル伝達を活性化する役割を担っている。血管では、血行力学応力に伴う血流や血圧といった力学的なシグナルへの応答が、血管壁の恒常性と病態発症に極めて重要な役割を果たしている。ECMが、メカニカルストレス応答時にどのように働くのか？また、それら細胞外環境の変化と血管壁のリモデリング機構がどのように連動性を持って、血管壁の恒常性を維持しているのか？については、まだ十分に理解されていない。本講義では、大動脈瘤血管壁でメカニカルストレス応答を担うECMや血管リモデリングにおけるECMの働きを概説し、血管病態発症の原理について解説する。

病態生化学分野 小林 美穂

(連絡先:内藤 恵 mnaito.bch@tmd.ac.jp 内線5449)